

平成 25 年 9 月 4 日

濃飛倉庫運輸株式会社

朝日大学と濃飛倉庫運輸株式会社との
産学連携活動に関する合意覚書の調印について

朝日大学（学長：大友克之、所在地：瑞穂市穂積 1 8 5 1 番地）と弊社は、産学連携活動を実施することに合意し、本日「産学連携活動に関する合意覚書」を調印・締結いたしましたのでお知らせします。

朝日大学大学院経営学研究科では、経営環境が複雑化し、実際の経営場面での問題が 1 つの学問分野に収まらないという社会情勢の変化に対応すべく、実際の業務における課題を解決するため、平成 2 5 年度からプロジェクト研究として 3 つの学問領域を研究テーマに設定して「複数の教員による実践的な研究指導体制」を構築いたしました。

弊社は、「地域経済社会への奉仕」を社是として、地域に根ざした総合物流企業として皆さま方からご支援、ご愛顧を賜っております。

両者におきましては、今回の合意覚書の調印・締結により、新たに連携体制を構築し、相互に持てる社会的能力を十分に発揮し、協力し合い、共通の事業目的である幅広い地域社会への貢献に向けて、より一層の努力を重ねて参ります。

記

1. 締結日：平成 2 4 年 9 月 4 日

2. 合意覚書の主な内容

【対象】

朝日大学大学院が平成 2 5 年度から新たに構築した 3 つのプロジェクト研究のうち、「グローバルロジスティクス研究」を産学連携活動の対象とする。

【産学連携活動の内容】

① 弊社は、事業目的に沿った実務的な内容の研究対象テーマを選定した

上で、朝日大学大学院経営学研究科に提供し、学術研究発展のため寄与する。

- ② 朝日大学では、弊社から提供を受けた研究テーマを学術的な見地から研究することにより、社会の実情に沿った実効的な研究を行うとともに、その深度を高め、学生の専門的知識向上に資する。また、併せてその研究成果を弊社に提供することにより、その研究成果の検証を行う。
- ③ 相互に講師を派遣し、講演会、研修会、見学会などを協力して開催することで、産学連携活動を推進する。

3. 今後の連携活動

第1回目の連携活動として、弊社の社員を朝日大学へ講師として派遣して、大学院経営学研究科教員研修会を開催すると同時に、弊社が所有する保税蔵置場の見学会を開催して、物流の実態を視察することとしております。

また、弊社において、社員教育の一環とした特別講座を開設し、当該講座の講師として、大学院経営学研究科担当教員の派遣を受け、講義を実施することを計画しております。

以上

